

あくせす

Access

NO.290

2020年3月24日

九州旅客鉄道労働組合
大分地方本部

大分市大道町1丁目8番1号
097-543-2223

発行責任者 佐藤守洋
編集責任者 竹下功人



LINE@

JR九州労組公式アカウント

ID ... @yqw2478t



第26回定期地本委員会開催



大分地本
佐藤委員長

3月7日(土)大分市ソレイユにて第26回定期地本委員会を開催し、来賓として、中央本部より芦原書記長をお招きした。議長には大分車掌分会より横山委員が選出され、冒頭、佐藤委員長より安全問題・組織問題・2020春闘政策課題について挨拶を行った後、各議案の提起を行い、各分会を代表する委員から職場問題や春闘に対する要望等多くの発言がされ、執行部答弁の後満場一致で採択された。



中央本部 芦原書記長

委員長挨拶 (要旨)

世界で新型コロナウイルスの感染が拡大し、公共交通機関で働く私たちも、いつ感染する分らない不安な状況が続いていますが、手洗いを徹底し、仕事中は必ずマスクを着用するなど心の掛けを徹底して下さることを要請する。

「安全問題について」
残念ながら重大事故が発生しております。鉄道の安全・安定輸送はもとより、「働く者の安全確保が鉄道の安全性向上に繋がる」との観点に立ち、今一度実効性ある取り組みを労使で作成し、すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ「最重要テーマ」に掲げ取り組みを強化して行きたいと考えている。

「組織問題について」
大分地本も確実に世代交代が進む中で、組合員が団結できる、強固な組織体制を確立するために、議論を継続して行き、8月の定期大会で承認を得たいと考えている。

「2020春闘の取り組みについて」
働くことを軸とする安心社会の実現に向けて、連合及びJR連合の方針に基づき、純ペア3000円をはじめとする要求の実現に向けて積極的に取り組んで行く。

- ・地域社員の隔日交代勤務について
- ・若手社員の離職について



青年女性委員会
高良委員

＜執行部答弁＞
地域社員の隔日交代勤務については、多くの不安な声があることは認識している。会社は面談を行い実施していく考えではあるが、地本としては制度の確立が重要だと考えている。
若手社員の離職については、大分支社でも去年12名が離職している、将来的に労働力不足になることは明白であることから賃金を始めとした労働条件の向上が必要不可欠と考えている。意見交換会

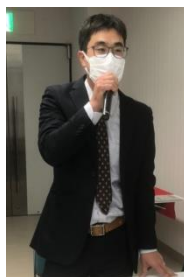
- ・佐伯工務センターの時間外労働について
- ・工事発注管理システムについて



佐伯工務センター分会
福田委員

＜執行部答弁＞
佐伯工務センターの時間外労働が偏っているところが見受けられる、時間外労働は平準化しなければいけないと考えている。また、効率化、工事発注管理システムの問題については実施後2ヶ月を目途に会社と協議をしていく。問題点の集約を要請する。

- ・多車種手当の新設について



運輸センター分会
小田原委員

＜執行部答弁＞
多車種手当の新設については、労働協約改訂交渉においても重点項目として会社と協議しているが新設には至っていないので引き続き協議を行なっていく。

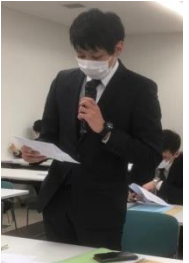
- ・4両編成ゆふいんの森号への昇降機の設置について
- ・列車の空転防止対策について



中央駅連合分会
淵上委員

＜執行部答弁＞
現時点で昇降機の設置計画は無いので引き続き昇降機の設置を求め会社と協議を行っていく。
列車の空転防止については会社の考え方、対策等を明らかにしていきたい。

- ・女性乗泊の新設について
- ・南延岡の女性用トイレについて



運輸センター分会
西田委員

＜執行部答弁＞
女性乗泊を含め環境整備は急務だと考えている。また、女性組合員の声を汲取り対応していきたい。
南延岡の女性トイレについては3月18日より使用開始となる。

- ・旗開きを開催していない理由について
- ・拘束時間24時間超えの行路について



運輸センター分会
井上委員

＜執行部答弁＞
旗開きがコミュニケーションツールとして重要ということは理解しているが費用対効果を考えると開催は厳しい。
24時間超えの行路については25時間を超えないよう配慮をされているが明文化を求めているがなければならない。

- ・地域社員の住宅手当について



中央駅連合分会
池永委員

＜執行部答弁＞
地域社員の住宅手当については、労働協約改訂交渉で協議されている。改善には至っていないが引き続き会社と協議を行っていく。

